

平成20年度 南丹市事業評価表 (平成19年度 実施事業)

事業CD. 8330 事業名: 社会体育振興事業
 細事業名: 社会体育振興事業

政策体系上の位置付け (参考) 平成20年度～ 総合振興計画実施事業

政 策: 第1章 生涯充実して暮らせる都市を創る
 基本施策: 3 生涯にわたって学び、活かす機会をつくる
 主な施策: (4) スポーツ・レクリエーション活動の振興

所管部署名
 部局名: 教育委員会
 課名: 社会教育課

科目CD. 1100601 作成日 平成20年10月17日

事業分類: B:ソフト事業
 新規事業 時限事業 (平成 年度迄)

実施根拠 (法令、条例等)
スポーツ振興法

事業運営方法 直営 一部委託 全部委託 補助等

委託先 民間 三セク NPO 学校 自治会・地縁団体
 その他 (体育協会等)

事業概要	
◆ 課題・目的 (どのような課題を解決するために実施した事業なのか)	普段スポーツをしていない市民にスポーツをすることの楽しみを与え、スポーツに接する機会を与える。参加することにより、市民交流を深める。事業を支える人材を増やす
◆ 活動内容 (具体的にどのような活動を行ったのか)	スポーツ団体と連携を図りながら実施した。 スポーツ事業を充実して実施した。
◆ 対象 (この事業を実施するにあたり、ターゲットとした者(物)は何か)	事業参加者
◆ 結果 (この事業を実施したことにより、どのような効果または結果が得られたのか)	協力者数の増加 地域・競技スポーツの充実

指 標		単位	18実績	19実績	20予算	21計画
活動指標	① スポーツ団体との連携					
	② 種目数					
	③			精 査 途 中		
	④					
	⑤					
対象指標	① 参加者数					
	②			精 査 途 中		
	③					
成果指標	① 参加者数					
	②			精 査 途 中		
	③					

市民や議会等からの要望・意見 (要望や意見の内容とその内容を確認した手段は何か)

種目の検討

決算(予算)額	(千円)	3,656	2,918	2,829	2,994
財源内訳	使用料・手数料等	(千円)	0	0	0
	国・府支出金	(千円)	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0
	一般財源	(千円)	3,656	2,918	2,829
職員従事時間	(人)		5.70		
人件費 ※	(千円)		27,944		
トータルコスト ※	(千円)		30,862		

近隣市町村や民間企業での同種事業の実施状況

同事業を実施している

※人件費は、職員の給与・諸手当・共済などから、一定の基準に基づき算定したおおよその額です。
 ※人件費およびトータルコストは、あくまでも参考値です。

【公共性の評価】

- (1) 行政の守備範囲 (民間や市以外の機関等が実施すべき事業ではなかったか)
- 法令等により定められた事業 市が実施すべき事業 行政内部の事業
- 民間等での実施は見込めない 民間等での実施も可能

説明: スポーツ振興法で事業実施が定められている。

- (2) 事業選定の妥当性 (事業の目的や意図が政策や施策の目指す方向にあっているか)
- 施策等の実現に向けた事業 施策等の方向とマッチしていない

説明: スポーツ施設の有効活用

- (3) 対象の妥当性 (事業の本質から考えて的を得た対象を定めているか)
- 本質に沿った対象である 的を得た対象となっていない

説明: さまざまな事業を実施した

【有効性の評価】

- (4) 課題解決への有効度 (目的の達成や、課題解決のために有効的な事業か)
- かなり有効的 当初の予想どおり 予想しても有効的でなかった

説明: スポーツ団体と連携した

- (5) 施策実現に対する有効度 (総合計画の施策実現に対して有効的な事業か)
- かなり有効的 当初の予想どおり 想定よりも有効的でなかった

説明: スポーツ振興が図れた

- (6) 成果向上の余地 (施策実現に向け更なる成果向上の余地はあるか)
- 大きい 小さい 無い

説明: 事業内容を充実させる

- (7) 類似事業との統合・再編・連携の余地 (他の類似事業と統合や連携ができないか)
- 統合や連携等の検討可能 統合や連携はできない 類似事業がない

説明: 事業間の連携

新たに生じた課題・解決できなかった課題等

協力団体を増やすこと

改革案 (いつ、どのような改革を、どのような手段で行うのか)

指導者養成

【緊急性の評価】

- (8) 課題解決への緊急度 (なぜ早期に実施しなければならなかったか)
- 法令等により期限がある 他事業よりも効果が大い 早期の取り組みが必要
- 他事業よりも優先度が高い 市民の生命・財産を守るため 緊急性は低い

説明: 継続性が必要

【効率性の評価】

- (9) コスト削減の余地 (事業内容、職員労力、仕事の進め方などから)
- 削減の余地あり 削減の余地なし

説明: 事業内容の精査

- (10) 受益者負担の適正 (社会状況等から受益者の負担は適正か)
- 正当な受益者負担 見直す必要あり 負担を強いる事業ではない

説明: 参加者負担の見直し

【協働性の評価】

- (11) 市民との協働による事業実施 (協働による実施を検討したか)
- 協働事業には不向き 協働では実施していない 協働で行ったが主体は行政
- 協働で行ったが住民主体は一部 市民等が主体となって実施

説明: スポーツ団体と協働した

- (12) 協働事業としての推進の余地 (今後、協働による推進できる余地はないか)
- 余地あり 余地なし

説明: 更なる協力団体の育成

所 属 長 総 括 評 価

八木、日吉においてはNPOや地域総合型スポーツクラブが中心に、また、美山においては地域振興会が中心となって市民スポーツの振興に努めている。園部においては人口も多く、競技団体を中心にしたスポーツ振興が図られているが、各集落から選出いただいている体育推進委員さんと連携 (企画から運営) した活動が更に必要になっ

※事務局使用欄

一次評価	継続 (現状維持)	普段スポーツをされていない人が、スポーツに参加する事業であるべき。一部の人の支援にならないように。
二次評価	継続 (現状維持)	生涯スポーツの推進と地域スポーツ振興、そして健康増進のため必要